

文庫 八事山



2021・夏

盆供養会／大施餓鬼法会

令和3年5月〔寺報・年4回発行〕

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

したたり



高野山真言宗
別格本山 八事山興正寺

<https://www.koushoji.or.jp>
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

したたり



私が入山したのが二十三三才で今六十八才になります。

この寺では何も教えてくれなく、分からな
いことは自分で先輩に尋ねました。

今思うとそれはそれなりに良かったかなと
思います。自分の時間もある程度自由に作
れ、その中で自分の得意とする「御詠歌」
をこの寺の中で活かそうと思い、先輩と共に
仲間を集めました。その頃はお年寄りの趣
味はありませんく、

初めは五名程でし
たが、多いときは

百名近い仲間が集
まり、お寺の行事

にも参加頂き楽し
い時を過ごしていま

した。最近はお年寄りの趣味も多様化して、
一時は五名程になりましたが、御詠歌に興味
を持つ仲間が加わり八十名程になっています。
「御詠歌」とは「心の歌」です。「御詠歌」
を聞くことで心が安まり、唱えることによつ
て新しい世界が広がっていきます。

「御詠歌」は讃美歌（神をたたえる歌）
に対し讃佛歌（仏をたたえる歌）です。

私は小さい頃より御詠歌を耳にして、講
員（御詠歌を唱える仲間）様方のお唱えを
聴き、そのうち音符が分かるようになると
音符とお唱えしている御詠歌が違つているの
が気になるようになり、音符通りにお唱え
をしなければいけないと自分で勉強してお唱
えするようになりました。しかし、その音
符通りの御詠歌を信者様に聴いてもらうと、
「有難くない」と言われ、何が違うのかと
考え、その答えが解かるまでに数年がかか
りました。

それは、御詠歌は「歌う」ものではなく「唱
える」ものであるということです。

「唱える」御詠歌を勉強して今日に至つて
いるのですが、今日の御詠歌人口の激減を見
るに「唱える」御詠歌は大事であるが、時
代に応じた御詠歌、即ち「歌う」「詠う」
御詠歌もあつていいのではないか、今までには鼻
歌で御詠歌を口ずさむ事はタブーとされてい
ましたが、もっと世間にアピールしても良いの
ではないか?と思うようになってきました。

「唱える」御詠歌と「歌う」「詠う」御詠
歌を両立させればもっと御詠歌人口が増える
のではないか?と思う。現在YouTube・
カラオケにも挑戦しています。一度ご覧く
ださい。

すずむら りゅうこう
長老 鈴村 隆弘

御詠歌の布教を行なう。
高野山 御詠歌金剛流 詠監

いのちのつながり

今から三十年ほど前、『生命場の奇跡』という一冊の本が出版されました。著者は帶津良一という外科医です。忽ちにベストセラーにもなった本ですから憶えていらっしゃる方も多いのではないかと思います。

帶津先生は、その著書の中で次のように述べています。

人間も、自然も、地球もそれぞれが「生命場」を持ち、その生命場において全てはつながっている。人は生命場において自然や地球とつながっていて、呼吸という「場」において「天の氣」を取り入れている。そして自分の「場」は他人の「場」ともつながっている。したがって「場」の「みだれ」が人の病気につながり、社会の場のみだれが戦争につながり、人間社会の横暴が地球の場を乱し、その地球自身の自然治癒力が人類の存続に関わりを与える、ひいては人類を滅ぼすこととなる。



更に同時代の宇宙物理学の分野では世

界の最先端学者であった松井孝典氏(東京大学名誉教授)は、宇宙ガイア説を提唱して宇宙自体が一つの生命体であるという立場から次のように述べています。

われわれは何ものか、どこから来て、どこへ行くのか? — 中略 —

宇宙から来て、宇宙に帰るということで、生命とは宇宙を伝搬するもの、ということになる「松井孝典著『宇宙生命そして人間圈』」。

さて、今から二〇〇〇年の昔、高野山を開き、真言密教を説かれた弘法大師空海上人は、その著書のひとつである『秘藏寶鑰』の中に、「生まれ生まれ生まれて生の始めに暗く、死に死に死に死んで死の終わりに冥し」という言葉を残しておられます。

祖師空海さまの示された「生死の場」

こそは、この大自然であり、大宇宙なのだとすることになりましょう。生死あふれる、生命満ちる、この大自然、宇宙は

そのままに、人間の一人一人も含めて全

ては命という関係性でつながっていることを大日如来の説法という姿で示しているのです。

相互供養・相互礼拝

全ての命はつながり合っている、だからこそ互に供養し合い(相互供養)、尊び合つていく(相互礼拝)ことをしよう。

なぜ相互なのか、それは私たち一人ひとりは互いに生命としてつながっているからであります。同じように先祖と私たちもまたつながっています。現代の最先端科学が到着したところの「生命の場」こそは、地球という生命であり、宇宙といいうのちであります。同時に生と死もういろいろなご縁を喜び合い、自らの人生を深めていく。

お寺のある暮らし

明るく心豊かな人生は、誰しもが望むものでしよう。

お寺は、目まぐるしい現代社会にあって、静かに心を養う場であります。人や地域社会とのご縁、歴史や文化との出会い、先祖のご縁、和尚さんとの出会い、いのちであります。同時に生と死もまたつながっているのです。一人ひとりの人生もまた過去から現在までつながっています。同じ人体ではないが、つながっているからこそ私が存在するのです。そのためながらをどのように受け止めるか、受け止め方、感受の仕方次第で私たちは仕合

永代供養墓 法羅陀淨苑^{からだじょうえん}

法羅陀淨苑【第一期】

この度、法羅陀淨苑【第一期】お申込受付の準備が整いましたので、有縁の皆さまを対象に優先受付のご案内を申し上げます。

見学・相談は興正寺の僧侶にてお受け致しますので事前にご予約ください。

○五二(八三)二八〇一

(九時より十八時)



一人用 五十万円

優先申込受付 六月一日より

*宗旨・宗派は問いません。但し、興正寺の法式に則りご供養いたします。
※原則「天瑞いづみの会」に入会いただきます。

盆供養並びに

大施餓鬼法会

八月十日～十六日

精靈送り

精靈送りは、お盆にご先祖様の御靈を迎えるがもてなした後に
お送りする、日本の風習です。迎える為に用意をしたお供えや精靈
馬などの盆飾りを敷物(コモ)や袋などにまとめて包んでお持ちいただき
読経供養し、ご先祖様をお送りします。お納めの際にお渡しするロウソク
は「送り火」として灯します。境内は幻想的な雰囲気です。

※盆飾りをお持ちでない方も、ロウソクを灯しお参りください。

お盆には、一年ぶりに
ご先祖様が帰ってこられます。

精靈棚をこしらえて
ご先祖様をお待ちします。
八月十三日の夕方には
提灯を灯してお迎えし、
十五日の夜に精靈送りをして
お送りします。

亡き人へ、私たちができること

ご先祖様を供養することは、その「供養によって得た功徳を他の人に巡らし、
その功徳はいずれ自分に向かって来る」といわれております。餓鬼の世界に落ち、苦しむ御靈のために心を込めて食べ物や飲み物などの供物を施し供養する、自身の徳を積む行事です。

古来よりご先祖様が家に戻ってくると言われております、そのためいろいろな設えやお供え物をして迎えます。旅から帰った家族を迎えるように、ご先祖様を身近に感じ、ご家族揃って一緒に過ごしましょう。

七日経

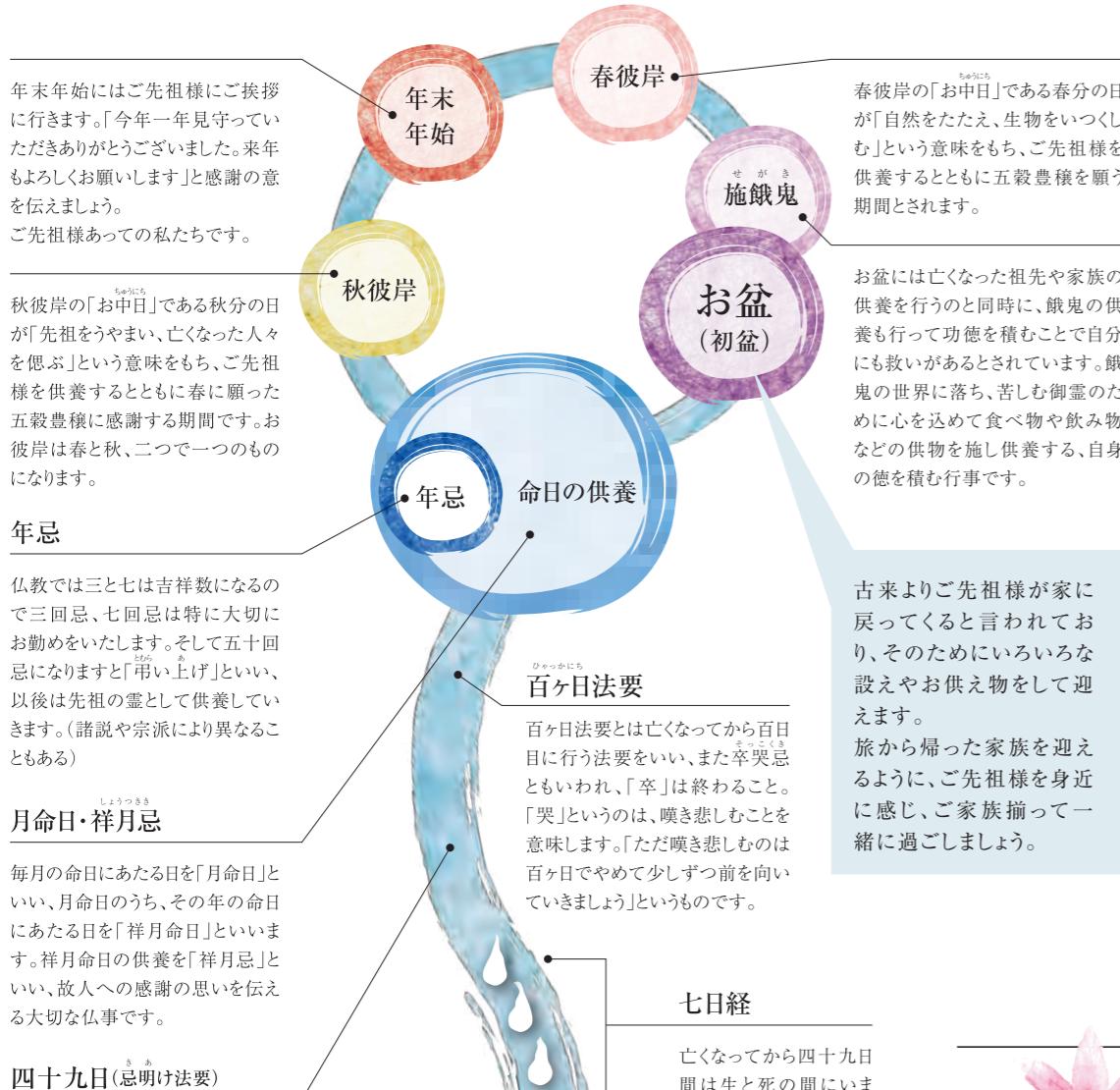
亡くなつてから四十九日間は生と死の間にいます。それを「中陰」とい
い、七日間ごとに仏さまに教えを戴き、忌明け(満中陰)に向けて読経供
養を勧めていくものです。



日 時 八月十五日 十七時～二十時
受付 西山本堂前 (当日受付)

供養料 盆飾り一体 千円より (ロウソクのみ五百円)

*布施は右記を自安にご自身のお気持ちのよいところでお納めください。
*ロウソクは、名古屋市内の授産施設で制作いたします。



お位牌出しについて

八月十日～十六日

圓照堂

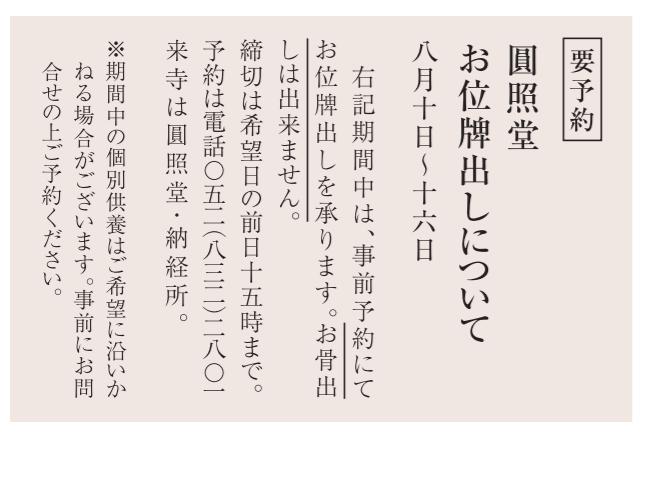
要予約

右記期間中は、事前予約にて
お位牌出しを承ります。お骨出
しは出来ません。

締切は希望日の前日十五時まで。
予約は電話〇五二(八三)二八〇一

來寺は圓照堂・納経所。

*期間中の個別供養はご希望に沿いか
ねる場合がございます。事前にお問
合せの上ご予約ください。



大施餓鬼法会

興正寺では一年を通して毎日お勤めをしている法要です。皆さまも毎日行っていただく事がよいですが、暮らしの中ではなかなか難しいと存じますので、年に一度、お盆にあわせ、皆さまもお勤めいただける機会として大施餓鬼法会にご参列ください。

お施餓鬼とは

お釈迦さまの十大弟子の一人、阿難尊者(あなんそんじゃ)が瞑想していると、恐ろしい姿をした餓鬼(かき)が現れ「お前の命はあと三日だ。三日後には餓鬼の仲間に引き入れる」と告げました。尊者はさっそくお釈迦さまに餓鬼に施し(ほなし)をする作法を授かり、食べ物を供え、ご真言を唱えて廻向(えうこう)しましたところ、たいそう長生きができたといわれています。こんなお話しが由来となり、施餓鬼会という法要が始ま

りました。



日 時	八月一日・十六日 十三時
※受付	各回十五分前(法会所要 四十～五十分)
場 所	光明殿二階(受付一階)
卒塔婆供養料	六尺 二万円より・五尺 一万円より
四尺 五千円より	



私たち、知らず知らずのうちに殺生をして生きています。それは、生き物のいのちをいただくことで、つつがなく生きていくことができるということです。生きるということは、殺生する、ということです。私たち、このことに感謝し、供養をさせていただくことで、この世のあらゆる精霊や無縁仏への廻向とし、また、この供養が巡りめぐって、ご先祖様に届くといふわけです。

私たち、知らず知らずのうちに殺生をして生きています。それは、生き物のいのちをいただくことで、つつがなく生きていくことができるということです。生きるということは、殺生する、ということです。私たち、このことに感謝し、供養をさせていただくことで、この世のあらゆる精霊や無縁仏への廻向とし、また、この供養が巡りめぐって、ご先祖様に届くといふわけです。

盆合同供養会(七月・八月)

日 時 七月十四日 十三時
八月十日～十五日(十二日除)
十時・十一時半・十四時

※受付 各回十五分前(法会所要 四十～五十分)

場 所 光明殿二階(受付一階)

盆供養料 六尺 二万円より・五尺 一万円より

四尺 五千円より

施餓鬼塔婆料 六尺 二万円より・五尺 一万円より

四尺 五千円より

※布施は右記を目安にご自身のお気持ちのよいところでお納めください。

申込方法 次頁参照 ※施餓鬼供養・盆供養は同日に参列可

申込方法 次頁参照

初盆とは

特に初盆は忌明け(四十九日)が終わり、故人が初めて帰つてくる大切なご供養となります。ご家族揃つてお迎えしましょう。尚、ご都合が合わず参列が出来ない方は「遙拝供養」にてお申込みください。

日 時 八月十二日 十時・十一時半・十四時

※受付 各回十五分前(法会所要 四十～五十分)

場 所 光明殿二階(受付一階)

供養料 六尺塔婆含 二万五千円より

五尺塔婆含 一万五千円より

四尺塔婆含 一万円より

※初盆合同供養会の供養料には施餓鬼供養料を含みます。

※當山にご納骨済みの方は、別途、法会日時を指定した申込書をお送りしますのでご確認ください。また、故人にとって初めての盆を、ご家族でも習わしに従つてお迎えいただきたく「こもセット」を同額致します。

申込方法 次頁参照

初盆供養会の受付①受付②迎え火③法会(読経・焼香)

④法会終了後、施餓鬼塔婆のお納め

申込方法 次頁参照

※當山にご納骨済みの方は、別途、法会日時を指定した申込書をお送りしますのでご確認ください。また、故人にとって初めての盆を、ご家族でも習わしに従つてお迎えいただきたく「こもセット」を同額致します。

興正寺施主慰靈法会 八月十一日 十四時半(於 西山本堂)

申込方法・締切

郵送受付

申込書を返信用封筒で返送。供養料は所定の払込用紙で郵便局より払込。

締切

申込書を供養料と共に持参。

来寺受付

申込書を供養料と共に持参。

締切

申込書を供養料と共に持参。

盆合同供養会[七月] 七月五日

施餓鬼法会[八月一日] 七月二十六日

初盆合同供養会 七月三十日

盆合同供養会[八月] 七月三十日

大施餓鬼法会[八月十六日] 七月三十日

遙拝供養

ご都合により参列できない皆様には、遙拝供養をお勧め致します。事前にお申込みください。ご供養し、卒塔婆は當山にてお供えさせています。

一日修養会「聖徳太子千四百回忌奉讚と十三仏拾遺】

三月～十二月

十時～十四時

令和三年から令和五年にかけて、

聖徳太子の由緒寺院では聖徳太子

の千四百回忌が勤修されます。興

正寺にも聖徳太子ゆかりの觀音菩

薩像が祀られており、日本の源と

して、また律の本尊として聖徳太

子を学びます。

また、令和二年の修養会で取り上げ

た干支守り本尊には含まれていな

い十三仏信仰の仏様たちについて

を取り上げてゆきます。(全八回)



「日程と内容」 第一、第二土曜日(初回のみ日曜日)

三月二十七日①	聖徳太子概論	当日の流れ
四月三日②	聖徳太子とその時代	昨年度に引き続き、隔月で写経を開催
五月八日①	聖徳太子の仏教思想	①十時供養、勤行、十時半法話、
六月十二日②	律の本尊聖徳太子	十二時昼食、十三時瞑想
七月三日①	薬師如来	(十四時終了)
八月七日①	文殊菩薩	十二時昼食、十三時写経
九月四日②	弥勒菩薩	(十四時を目安に書き終えた人から終了)
十月二日①	地藏菩薩	
十二月十一日②	釈迦如来	

申込・締切
要(納経所・普照殿各受付／各回三日前まで)

受付期間 令和三年九月末日まで(令和三年
千燈供養会よりお祀りします)
受付燈数 限定燈数(受付期間に限らず、数量
満了となり次第終了)
奉納料 一燈 五千円

※払込申込希望の方は、お電話にてその旨ご連絡くだ
さい。
※献灯場所は境内全域となります。希望箇所指定には
応じられませんので、あらかじめご承知ください。



「千燈供養会」奉納提灯のご案内

祥月忌合同供養会

※日程はカレンダー参照

場所 西山本堂(圓照堂納骨の方は圓照堂にて)
時間 西山本堂十三時・圓照堂十三時半
供養料 一燈 五千円より(当日受付)

世相等により掲載の予定(参拝方法含)は変更・中止となる場合があります。
最新情報のご確認は公式サイト・電話でお願い致します。

四月 或る日の Instagram

竹林浴

竹翠亭の裏側にあります竹林。風が吹けば竹葉がサラサラとこすれあい新緑の清々しさを感じます。竹林は僧侶によって管理されており、今春残す竹を選別する僧侶の眼は真剣であります。世界で初めて建立された最古の寺院の名は「竹林精舍」。お寺と竹は縁が深い。



こちらのQRコードから、どうぞ。



寺のいとなみ

午後一時

青葉若葉の梅雨。湿り気が満ちた樹木は色濃くなり、雨脚が白くなるのとあわせ段々と視界が暗くなる中で感覚が研ぎ澄まされていきます。

傘が弾く雨の音――

今日はそれすらも心地いい。

今も昔も人々は心のようすを雨に重ね、恋心や悲しみ、無常を雨に託し、そこに秘められた情熱を認めきました。近年では、映画『君の名は。』をはじめ、美しい風景描写が特徴の作品を手がけたことでも知られる新海誠氏の著書『小説言の葉の庭』でも、雨をモチーフにした和歌など雨の描写が色彩豊かに綴られています。古からの人々のすぐれた感性は、刻一刻



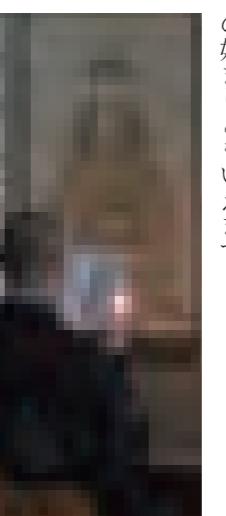
みまもる

仏様はお寺だけではなく色々なところに祀られています。ご自宅の仏壇の中であったり、お墓の中にあったり、外を歩いていると道沿いに祀られていたりします。その中でも多いのが地蔵菩薩です。お地蔵さんの愛称で呼ばれ私達にも馴染み深い仏様です。

昔はなしにもたくさん登場するお地蔵さんですが、その中に「傘地蔵」というお話があります。お地蔵様に傘をあげて一つ足らない分、手拭いを巻いて家に帰ったら御礼をしにお地蔵さんがきたというお話ですが、お地蔵さんが何体おられる覚えていらっしゃうか。全部で六体です。

これにはちゃんと意味があって、六道と言われる六つの世界を行き来してどこにいても救ってくださるのがお地蔵さんなのでそれぞれの世界にいるお地蔵さんの姿になります。

は耳にする事が少なくなった気がします。現代のスピード社会では、そんな言葉が出る時、気持ちに少々の余裕を意識しなければならないのでしょうか。自分の力はどうする事も出来ない自然や物事をやり過ごす時、心に余裕を意識する事で何とも言えない心地よい響きすら漂わせてきます。そして、いつかは慈雨となる事を願いたいものですね。



修羅の世界は争いの絶えない世界です。喧嘩とかをしている時は修羅の世界にいるのかもしれませんし、餓鬼の世界は飢えと貪りの世界です。何か物を買っても、もっといいものをと新しいものが欲しくなり、欲をかいたらきりがありません。これは正に餓鬼の世界です。このように私達は生きている間に色々な世界に行ってしまうのです。

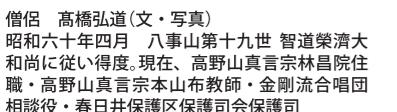
お地蔵さんはどの世界にいても私達を救い上げれるよう、色々なところで私達を見守っているのかもしれません。

夏安居

インドでは六～十月頃は雨期で草木や虫がよく成長する時期にあります。修行者は特に殺生を避るために洞窟や寺にこもって修行に専念することになりました。

これを安居といいます。安居中は修行者から説法を聞くことを習いとしました。

この安居のための居場所が、お寺の始まりともいえます。



僧侶 高橋弘道(文・写真)
昭和六十年四月 八事山第十九世 智道榮濟大和尚に従い得度。現在、高野山真言宗林昌院住職・高野山真言宗本山布教師・金剛流合唱団相談役・春日井保護区保護司会保護司



僧侶 佐藤基弘(文・写真)
平成11年(1999)高野山専修学院入学 四度加行成満、寶壽院道場に於いて伝法灌頂入壇。



僧侶 三井正優(文・写真)
高野山で修行の後平成19年に興正寺に入山。平成29年に法類である御器所神宮寺の住職を拝命。毎月21日の縁日は、弘法堂の堂守としてお勤めしている。

内観の旅路

「物之興廢必由人 人之昇沈定在道」
「物の興廢は必ず人に由る 人の昇沈は定めて道に在り」(綜藝種智院式序)

このお言葉は弘法大師空海さまが、わが国初めて庶民の為に作られた学校「綜藝種智院」を開かれる時に建学の精神の如く記されたお言葉で、私の師僧も私自身もこの建学の精神に基づく学び舎で、お大師さまのみ教えや作法を学んだ一人です。

例えば、我々が学んだ「言葉」。その意味するところを單に知識として終わらせるのではなく、口先だけに留まらず、いかに行いとして反映するか。人の浮き沈みも同様で、自分自身の生き方や学び方、物事に対する取り組む姿勢により、人間関係も社会での生き方も変わります。この世の様々な物事の興廢は、それを担う人材によるものでしょ、人生の浮き沈みも同様で、その人がどの様に精進努力し、感謝(思いやりと支え合い)と智慧(教え)を生かすかが大事ですよ。と、お大師さまは仰られているのです。

自分だけではなく、廻りを認めていくことこそが今最も求められているのではないか。

つい先日、四月のある晴れた朝、境内を歩いていると、参拝の方から声をかけられ、立ち話が長話へと、たわいもない会話のなかで、「ところで、お坊さんにとって『いい人生』とは、どんな人生ですか?」と聞かれましたので、私は、「いい加減な人生ですよ。」と答えました。その方は、ぽかんと口を開け、しばらくすると、笑いながら「またまたあと冗談を。」と言つので、私も笑いながら「冗談ではありませんよ。」

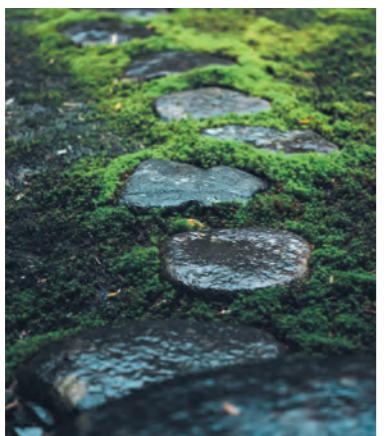
「それが仏教です。」と答えました。ヒントは中庸(中道)です。

水銀体温計

コロナ禍、先代の鄙びた薬箱から水銀体温計を掘り出した。脇に当てるときガラスがヒンヤリと冷たい。時間はかかるが、やはりアナログは良いと感じるのは私だけだろうか。

妻の膝上に座る幼い息子と、振り冷ます体温計に、幼少期の記憶がしたり落ちた。「まだあ?」と聞くと、祖母は「まあまだまだ」と言う。そして測る間、当時の私にはよくわからぬ陀羅尼を唱えるのである。

本年水銀体温計の製造・輸出入は禁止され、WHOは環境問題により全廃を目指している。



したた
かち

その「二 薬水鉢の茶席せのめいさく」上うえされるのが「したたり」です。千利休せんりきゅうが侘茶わび茶を結んだ名水「菊水の井」からイメージされたこのお菓子は、寒天のほろりとした食感と黒糖のコク、それらを際立たせる京都の地下水で作られており、シンプルでありながら特別な一品として愛されています。

日本に息づく
おもしろみ。



魅力の カタチ KATACHI

水に想う

すに。透明な水に色がつき、とろりと流れ落ちるまで、ずいぶんと時間がかかりました。

パソコンやスマートフォン、タブレットが生活の一部になつた今、文字を書く機会は少なくなりました。ましてや筆を手にすることは稀でしょう。授業の書道が最後の記憶、という方も多いのではないかでしょうか。

幼い時分通つた書道教室では墨液ぼくえきを使っていましたが、一度だけ、ゆっくりと時間をかけ墨を磨つて書いたことがあります。硯おかの陸に少量の水をおき、そこで墨を磨ります。必要な量を一度に磨るのではなく、磨つては水を差しました磨る。これを繰り返すうちに陸にたまつた墨液が海に流れ落ちていきます。「墨は墨の重さで磨る」、力を入れず慌て

中国では学問や徳に優れた人物である文人に欠かせぬ四つの道具を文房四宝といいます。文房とは文人の書齋で、そこに備えておくべき四つの道具が筆、墨、硯、紙。これらは詩歌や書画、手紙や文書に欠かせぬものです。ほかにも文鎮、筆架、墨床、硯屏などがありますが、实用性とデザイン性をかねそなえ美術品として収集する人も多いのが水滴（水差しともいう）です。水滴は墨を磨る際、水を差す道具で大きさや形も様々です。

子龜を背にのせた親龜が水からあがり岩の上で日向ぼっこでもしているのでしよう。首をのばして



形で和の趣 「紋切りあそび」

和紙を折り、型紙に合わせて切り抜いて、美しい形を生み出す「紋切り」は日本の伝統遊びで、昔は、寺子屋の教科書にも載っていました。

和の形は、身近な植物や動物、生活の道具から生まれ、その形の名称の響きも美しく、膨大な種類があります。それを、家紋、着物やのれん、提灯や食器、てぬぐい、生活のあらゆる場面に使っていました。お洒落でユーモアや機知にあふれる美しい形の中に、日本人がどんな風に身の回りの物を見てきたのかを感じることができます。「決まりきった」という意が「紋切り」ですが、型があるからこそ、自由に



なれます。粹で誇り高い自国の文化の形を模倣してたどるだけでなく、新しいセンスで季節の行事や身近な道具として、個性豊かに暮らしの中で楽しむことで、その時代らしさが付け加えられる。それが、「伝える」ということなのだと思います。

親子向け講座 ◆ 子ども寺子屋くらぶ「夏」 ※詳細は11頁

く天地を潤すように、言葉ひとつ、花一輪、一服の茶がささやかな働きかけを私たちにもたらします。そこから世界が広がっていきます。





八事山古地図探訪

八事山
遍照院
興正寺
境内全図



智慧と慈悲 不二の山

八事山興正寺は、高野山真言宗の別

格本山のお寺です。

弘法大師空海上人のお開きになら

れた宗派です。

真言宗の中心になる仏様は大日如来

（大毘盧遮那仏）と呼び最も尊重さ

れる仏様です。

この大日如来には二種あり、曼荼羅

という大日如来を中心多くの仏

様が描かれた絵図で、智慧をあらわ

す金剛界曼荼羅と、慈悲をあらわす

胎藏曼荼羅で、二つ合わせ金胎不二

両界曼荼羅と呼び、この二つの曼荼

羅の掛軸を東西に掛け、一心に拝

み、觀想します。そこには正しい智

慧をもって現象世界を正しく觀

察し、何事にも執着することのな

い融通無碍の心をあらわし人の深

層心理、自然宇宙を表すものです。

興正寺の総本尊である大日如来は、

慈悲を表す胎藏界の大日如来です。

智慧と慈悲、人はこの二つが均等に

片寄ることなく、生活をしていくことが大事だと思います。

一步、興正寺の境内に足を踏み入れれば、そこは大日如来を中心たくさんの諸仏菩薩の曼荼羅世界を観じながら境内を参拝するとよいでしょう。

合掌



お山は往く春を惜しみ、初夏を楽しむ花たちで、賑やかなことだろ。藤や紫陽花が山を涼しげな色に染める。東に分けられた八事山には、単に樹影がその時々の訪問者を迎えつつ、季節の転遷を示す。山は、その時に寺を護り、護られながら、共同体として存在する。森は朽ちてなお、様々な命の温床となつて世代を繋ぐ。立派なお堂も仏の姿も、やがて傷むのは必定、古の人たちはその時に備え櫻や樟を育てた。野草を採り、神仏に花を供え、実りを喜び、また、木々の緑陰を楽しみ、時を共に過ごし、伐採の後もその芯に仏の姿を見いだして刻み、護摩を焚き、燃料にするなど最後まで活かしきつた。かつての松山を惜しむように佇む樅や樅の木など常緑の針葉樹は、今では孤高の存在だ。

たとえば諸堂近くには、必ずと言つて良いほど和棕櫚が葉を広げる。箒やシユロ繩の材となるなど役にも立つ

からだ。元々南方の植物で、昔は自生することは少なかつたと聞く。大日広場では、春に四手桜（采振木）がひつそりとその花を如來に供花し、籠影に隠れて梶が香華する。紫雲の伝承のみで、花をなかなか見せない藤の大木は、今も森を支えている。木陰には藪蘭や翠蘭が彩りを添え、人が勝手に雜草と呼ぶ逞しい緑が、花をいっぱいにして地を埋め尽くす。

「山は人の真摯な祈りに応え、祈りはやがて遙か高みを目指す」翁の言葉は緑滴る森の中、過去から連綿と続く祈りの風となる。

絵 和棕櫚(ワジュロ)
場所 中門脇・その他

集】を読み解きます。
仏典（仏教典籍）とは仏教における権威ある書物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要

仏典読み解き講座

金剛流御詠歌の入門講座。作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

御詠歌入門講座



修行のひとつとされる「写経」。一文字を写すことだけに集中いたします。ひと筆ずつ文字をし、たためる時間の中で、自身の心を見つめましょう。

写経

密教の修行法として説かれ、瞑想法で、僧侶が心を整えるために行っています。呼吸方法から座り方など基本動作を学びます。

阿息観

修行のひとつとされる「写経」。一文字を写すことだけに集中いたします。ひと筆ずつ文字をし、たためる時間の中で、自身の心を見つめましょう。

講座のご案内

世相等により掲載の予定(参拝方法含)は中止変更となる場合があります。



Chapter 5 ジャパニーズ・愛 JAPANESE EYE

つまらないのですが

俺が俺が、と前へ出るのではなく、控えめに、半歩下がって後ろからついて行く。人目のないところでも、丁寧に真心を込める。表立って評価されるようなあざとい行為を、日本人は好みません。「陰徳を積む」という言葉が人格を修養する人たちの間で大切にされますが、それは「人知れずに積んだ功德でなければ意味がない」といったニュアンスさえ含んでいます。

日本人には、キリスト教的な「人類は万物の靈長」といった、人間にだけ特権が与えられている、自然を自由に支配してもいい、という考え方にはじまず、むしろ仏教で言うような「山川草木悉有仮性(山も川も木も草さえも、すべての命が平等に仏と成る可能性を秘めている)」という果てしない生命への平等観が根底にあるのです。人生の修養に、慢心こそがもっとも危険な落とし穴であることを、日本人は無意識のうちに知っているのです。



花のある暮らしは、心もやわらかになります。季節の草花と向き合い、その日出会った器に生ける。花をいつくしみ生かす精神と基礎を学び、日々を豊かにする体験講座です。(資格取得目的講座ではありません)

和文化体験 いけばな

講座名	時間	場所	講師	開講日 6月~8月	支具料	申込	備考
阿息観(瞑想・密教禪)							
阿息観	14時~16時	-	杉浦宣秀僧侶	毎月 10・20・30日 (8/10除く)	無	不要	座禅が組める服装
遊翠の心 阿息観	10時~12時 14時~16時	竹翠亭	西山海良僧侶	6/22・7/27	1,500円	要	座禅が組める服装
写経							
写経写仏はじめて講座	11時~14時 (法話13時)	光明殿	榎田英伸僧侶	毎月 21日	1,000円	不要	時間内随時 初心者は11時より
遊翠の心 写経	10時~12時 14時~16時	竹翠亭	西山海良僧侶	6/8・7/6	1,500円	要	-
御詠歌入門講座	14時~16時	光明殿	鈴村智弘僧侶	6/6・19・7/3・17 8/7・28	無	不要	-
仏典読み解き講座	10時~12時	普照殿	榎田英伸僧侶	6/18・7/28	無	要	④筆記用具
遊翠の心 水墨画	14時~16時	竹翠亭	山田静舟	6/25・7/23・8/27	2,000円	要	-
遊翠の心 きもの装い	初級 10時~12時 応用 13時~15時	竹翠亭	竹翠亭	6/2・16・7/7・14 8/4・18	2,000円	要	4月開始年間講座
遊翠の心 茶の古典を読む	10時~12時	竹翠亭	榎田英伸僧侶	6/3・7/1・8/3	1,500円	要	④筆記用具
和文化体験 いけばな	13時半~15時	-	華道高野山講師 小林弘子・平野裕子	6/17・7/15・8/19	3,000円	要	花材代含む ④花ばさみ・花合羽
遊翠の心 茶の扉(全3回)	10時~12時 14時~16時	竹翠亭	竹翠亭	夏 7/28・8/25・9/15	6,000円 (3回分)	要	申込開始 WEB 5/27 10時 電話・来寺 5/28 10時
子ども寺子屋くらぶ	10時~12時 13時半~15時半	竹翠亭	竹翠亭	8/6・7	※7日は午前のみ	1,500円	要 申込開始 WEB 6/5 10時 電話・来寺 6/6 10時
一日修養会	10時~14時	光明殿	榎田英伸僧侶	6/12・7/3・8/7	2,000円	要	昼食代含む ④筆記用具
TERA-YOGA	10時~11時半 13時~14時半	觀音堂	西口のぞみ	6/21・7/21・8/21	2,000円	要	-

※④=持ち物 ※「遊翠の心」支具料は講座後の呈茶含む ※場所変更は当日境内掲示でご確認ください



Chapter 5 ジャパニーズ・愛 JAPANESE EYE

「つまらないのですが、どうぞこれをおひとつ」。日本人が大切な人の所へ訪問した際に、手土産を渡す時の挨拶。海外の方は、「なんでつまらないと思っているのを人にあげるんだ?」と驚く、と聞いたことがあります。こういう挨拶は、やや古風で、今日日あまり使わないのかもしれません。しかし美しい日本の心の一つです。もちろん大切な人に渡す品物に、わざわざ「つまらないもの」を選ぶではありません。むしろ細心の注意を払って「きっとこれなら喜んでもらえるかな…」と相手の笑顔を思い浮かべながら選びに選ぶのです。それほどまでに心を碎いて選んだ品物をどうして「つまらないもの」と呼ぶのか、ですって?それは「どんなに素晴らしい品物でもあなたの素晴らしいには釣り合わない、見劣りするものに過ぎない」という想いから出る言葉なのです。相手を心から大事にするからこそ、真心を精一杯込める—自分の至らなさを恥じらいつつ。これこそ日本の「謙譲の心」なのです。

"This is mundane, but please accept it." This is a phrase used when Japanese people hand gifts to special people when paying a visit. People from overseas may be surprised. After all, why would anyone gift things that they feel are mundane? This greeting is rather old-fashioned and isn't used that often these days, but it is an example of the beautiful Japanese spirit.

Of course, people don't go out of their way to choose something mundane as a gift for someone special. In fact, they imagine the smile on the recipient's face while choosing, and ask themselves, "Would they be happy if they received this…?" If they make every effort to choose a splendid gift, why would they call it mundane? The message behind this is, "No matter how fabulous the gift is, it is unmatched to your brilliance and is nothing but inferior." Because you truly

care about the other person, you put your heart into it—all while being ashamed of your shortcomings. This is the essence of the Japanese spirit of humility. Rather than stepping forward, Japanese people discreetly take half a step back and follow from behind. They gently put their heart into their actions, even when nobody is watching. Japanese people don't appreciate aggressive acts that are outwardly appreciated. Among those developing their character, the concept of doing good deeds discreetly is cherished. This concept also includes the nuance of good deeds being meaningless if not done in secret.

Japanese people are not accustomed to the Christian concept of humans being the crown of all creation and having special privileges that allow them to freely reign over nature. Rather, at the center of their beliefs is a Buddhist idea that views life

equally: all life, including mountains, rivers, trees, and grass, have the equal potential of becoming a buddha. Japanese people are unknowingly aware that arrogance is the most dangerous trap when developing character.

Tea ceremony experience

Reach beyond time and enjoy the essence of Japanese culture. The preparation and drinking of tea is central to the culture of Japan. At Chikusui-tei, Matcha tea and confectionary are even more delicious in a fine example of traditional architecture that was built in the Taisho Period (1911-1925). COST▶ A bowl of Matcha tea and a piece of traditional Japanese sweets are included in the 500 yen admission fee to enter Fumon Garden. (Reservation required) am10:00~pm4:00/irregular holidays

仏教を通し 心のあり方を見つめる

● 医療法人生寿会かわな病院
在宅ケアセンター講演・対談
「生きること、そして死ぬこと」

オンラインセミナー「生きること、そして死ぬこと」を医療法人生寿会理事長、医師の亀井克典様とご一緒に開催しました。多くの方の協力があり無事講演を行なうことができましたこと御礼申し上げます。

今回は「仏教から見る死生観」を軸に、どのように死と向き合い、よりよく生きるかを考えるものでした。医療の視点からは身体的苦痛を取り除き死から人を遠ざけるか、死を安らかに迎える



か。仏教では自身の死をどう受け止め、よく生きて精神的安心を得るか。僧侶として改めて檀信徒の方達との関わり方を考えさせられる講演でした。人に寄り添い少しでも多くの方に安心を感じていただけたように勤めていたと思います。

(二月二十六日)



アーカイブ動画
(YouTube)

星祭御札祈祷会・節分厄除祈祷会

百二十四年振りに二日が節分となつた本年はコロナ禍も重なり、新たな取り組みを模索できた春分となりました。一年の始まりでもある春分に厄除除き、より良い一年にと祈祷致しました。

(二月二日)



企業研修 宝交通株式会社

宝交通株式会社様からの依頼により入社一年目の社員を対象に一日研修を行いました。入山式、阿息觀、作務食事作法、写経、日本文化(茶道)、法話と、お寺ならではの内容で行いました。

特に心に残ったのは、阿息觀と呈茶だつたそうです。(二月八日)



大日堂華曼荼羅会

屋根より雨漏りをしていた為、修繕工事を行いました。お堂は木造で作られているものが多いので、年月が経つにつれて手入れが必要になります。より良い状態で後世に遺していく為には、全ての物や事において「手入れ」が必要なのかもしれません。(二月六日)



大日堂華曼荼羅会

百五十にも及ぶ大変多くの幟を奉納いただき、ありがとうございました。一年間大日如来縁日にて芳名を読み上げ、ご祈願させていただきます。縁日は、毎月八日十二時半より勤めていますのでご参拝ください。(四月八日)



開山忌

開山天瑞圓照和尚の遺徳を偲び、前日には御達夜を、当日は法類寺院と共にご供養を勤めました。(三月十四日)



文化を伝える

● 令和二年度 西尾市オープンカレッジ

今回で四年目となる西尾市オープンカレッジは「お坊さんが読み解く宮沢賢治」と銘打って、六回にわたり樹田英伸僧侶が講義しました。「雨ニモマケズ」「銀河鉄道の夜」など賢治の代表作の背景に流れる仏教思想について紐解き、「愛すべき人間・宮沢賢治像」を描き出し、賢治ファンの受講者も大満足の講義となりました。(令和二年十二月～二月)



開山忌記念茶会

濃茶席 表千家 谷口宗久
薄茶席 武者小路千家 伊藤妙宣

子ども寺子屋くらぶ「春」

とりのこ、はいざくら、さんご、もも、さくら、なでしこ、つつじ、ばたん。自然の



濃茶席 表千家 谷口宗久

竹翠亭季節の室礼

中にある春色のグラデーションに苔色と常盤色をアクセントに加えて、和緞じ帳をつくりました。針に糸を通して紙の束を上から横から綴じていきます。慣れない作業でしたが、みんな頑張りました。工作のあとは満開の桜をみながら抹茶を一服。笑顔あふれる一日でした。(三月三十一日)

五節句を中心には、四季折々を楽しんでいたたく季節の室礼。集うことが難しい今、小さな鬼たちが笑顔をぶりまさしく恵高いに力をかけてくれました。(一月一日～十三日 新年の室礼、一月二十六日～二月三日 節分の室礼、二月二十三日～三月四日 桃の節句の室礼)



桃の節句の室礼



新年の室礼

自然を遺し、紡ぐ

春三月初旬、名古屋市街地のとある街路樹伐採を前にして、心を込めた法要が営まれました。興正寺僧侶による木靈報恩法要は、様々な理由でやむを得ず移植や伐採される樹木に対し、長年地域を護り、安らぎを与えてくれた事へ感謝を込めた供養で、合わせて作業の安全を祈るものでした。



十六ささげのごま味噌和え

十六ささげ	150g
みりん	大さじ1
○赤味噌	大さじ1
○酢	大さじ1
○すりごま	大さじ1/2

- ① 十六ささげは熱湯でゆでて、3cmの長さに切る。
② 煮切りみりんをつくる。みりんを鍋に入れて強火で加熱。中火にして2~3分煮てアルコールを飛ばし、冷ます。
③ ボウルに○の調味料と②の煮切りみりんを合わせ、①に和え混ぜる。

レシピ出典
食育ネットあいち(あいちの郷土料理レシピ50選)



盛夏のしあわせ暦ごはん

『あいちの伝統野菜』に選定されている盛夏の野菜、十六ささげ（十六大角豆）。十六ささげは、さやに十六個の豆が入っていることから、その名が付けられたとも。収穫は手作業で一本一本摘みしていく必要があり、非常に手間をかけられているそう。

この地域ではお盆の時期になると精霊馬などと共に精霊棚にお供えし、諸靈をお迎えすることが多いですね。



能満堂前

投稿を募集します

皆さまのこぼれ話「つむぎたい心」を紹介します。文章のみの場合は400字以内。写真は2L判まで説明200文字以内、撮影場所、年月を明記。

[送付先]
〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78「八事山文庫編集係」
メールの場合は info@koushoji.or.jp 氏名・住所・電話番号・ベンネームを明記。
※ 投稿や写真の返却は致しません。採否問合せや回答もお受けいたしません、ご了承ください。

つむぎたい心

令和二年、三年と新型コロナで大変なことになります。
私達も十分気を付けなければなりません。
気が重くなるこの時季、幸いにも私の近くに八事山興正寺があります。
天気のいい日には散歩させてもらっています。
四季折々の花あり、春の新緑も大変きれいです。
山路も適当な坂あり、後期高齢者の私の体力にもちょうどいい運動になります。
皆さんも一度、興正寺に参拝され散策されてはいかがでしょうか。

岩谷 久行

区役所が地域の方々と協働で製作されています。昭和区の歴史的なスポットや街歩きにおすすめのポイント、楽しいコラムも満載です。興正寺でも配布しています。

昭和区のあらたな魅力を発見するため、「新発見！昭和区の魅力」をテーマに名古屋市昭和区役所により開催されました。昭和区の魅力あふれる作品の中から、興正寺で撮影された3点が入賞しています。

受賞作品を活用しクイズラリー「ショウちゃんと一緒に行こう！昭和区の写真映えスポット巡り」も八月末まで開催されています。(問合せ先 昭和区役所地域力推進室)

昭和区まちかどフォト
昭和区の魅力を発見するため、「新発見！昭和区の魅力」をテーマに名古屋市昭和区役所により開催されました。昭和区の魅力あふれる作品の中から、興正寺で撮影された3点が入賞しています。

- 日本冬桜の会(境内案内) 他
- タウンニュースでんぱく
- 茶華道ニュース
- ぶらり名所団会—歴史絵解き旅—
- 一生に一度は参拝したい全国の神社・お寺めぐり(渋谷伸博著)
- (中部ケーブルネットワーク他)
- NHK岐阜放送局「まるっと！ぎふ」
- 中日新聞(3/11朝刊) 月刊なごや
- 体験・境内案内

● 災害用非常食寄付

興正寺境内にある高野山真言宗本山管理の災害備蓄倉庫内蓄品入れ替えに伴

● 地域活動

トセンター お受け取りいただきありがとうございます。(二月)

● ショウウちゃんとめぐる ぶらり昭和区MAP 第五弾となる「八事・興正寺編」が完成しました。このマップは名古屋市昭和

● 会合

第三回布教師会議(3/10)
名古屋二十一 大師靈場会(3/22)

● 他

● 志納奉納ご芳名 (敬称略・順不同)
〔令和二年十二月～令和三年三月〕

● 奉納・協賛など「興正寺より」

● 須佐之男神社 新年奉納 下山由香理 金十万円

● 志納奉納ご芳名 (敬称略・順不同)
〔令和二年十二月～令和三年三月〕

● 奉納・協賛など「興正寺より」

● 須佐之男神社 新年奉納 下山由香理 金十万円

● 宗徳流名古屋支部会 岩谷久行

● さくらんぼ

御縁日[毎月] 5日 10時……大隨求明王 露 13日 10時……虚空蔵菩薩 露 18日 13時……觀世音菩薩 露 24日 13時……地藏菩薩		10時30分…大日如來 15日 13時……阿彌陀如來 21日 10時30分…弘法大師 露 28日 14時……不動明王	
1 木 友引 茶の古典を読む [遊翠の心] 戌の日 休 普門園(13時より)		17 土 先勝 9世月 先勝 騰乃學習 御詠歌入門講座	
2 金 先負 想耕茶会「青時雨の席」 平生 休 普門園		18 日 友引 縁日 觀世音菩薩 火 休 普門園	
3 土 仏滅 御詠歌入門講座 一大安 一日修養会		19 月 先負 火 休 普門園	
4 日 大安 祥月忌合同供養会 (靈・國・法・遮・永絆・永納)		20 火 仏滅 水 休 普門園	
5 月 紅口 縁日 大隨求明王 露 申込み切 七月盆合同供養会(郵送受付)		21 水 大安 TERA-YOGA 写經写仏はじめて講座	
6 火 先勝 水 休 普門園		22 太 海の日 梅鉢結花	
7 水 友引 小暑 温浴会 きもの装い [遊翠の心] 名古屋市自動車図書館		23 金 スポーツの日 水墨画 [遊翠の心]	
8 木 先負 水 休 普門園		24 土 友引 青葉まつり(日暦6/15) 安産合同祈祷会	
9 金 仏滅 水 休 普門園		25 日 先負 振替休日 休 普門園	
10 土 赤口 蓮房開 阿息鏡 申込み切 団体参拝(7/30)		26 月 仏滅 施餽鬼法会(8/1)(郵送受付) 休 普門園	
11 日 先勝 祥月忌合同供養会(国)		27 火 大安 阿息鏡 [遊翠の心]	
12 月 友引 普門園		28 水 土間淨居 不動明王 茶の席(夏①) 仏典読み解き講座	
13 火 先負 戌の日 縁日 虚空蔵菩薩 露 干支成満巡り		29 木 先勝 阿息鏡 想耕茶会「花野の席」 申込開始(WEB)	
14 水 仏滅 6世祥月 和文化体験いけばな		30 金 友引 阿息鏡 想耕茶会「花野の席」 申込開始(電話・来寺) 想耕茶会「花野の席」 申込切 八月盆合同供養会(郵送受付)	
15 木 大安 縁日 阿彌陀如來 七月盆		31 土 先負 申込み切 初盆合同供養会(郵送受付) 申込み切 大施餽鬼法会(郵送受付) 申込み切 八月盆合同供養会(郵送受付)	
16 金 休 普門園(12時より)		18 水 大安 八事夢講座 蒙霧降 きもの装い [遊翠の心]	
17 土 先勝 9世月 先勝 騰乃學習 御詠歌入門講座		19 木 赤口 和文化体験いけばな	
20 金 先勝 弘法大師 露 TERA-YOGA 写經写仏はじめて講座 初心者のためのお茶席体験		21 土 友引 縁日 弘法大師 露 マリシエ茶席 興正寺マルシエ	
22 日 先負 夏安居(結願)(日暦7/15) 祥月忌合同供養会(国)		23 月 仏滅 處暑 緋樹開 休 普門園	
24 火 大安 縁日 地藏菩薩 地蔵縁日大祭(能満堂) 申込み切 団体参拝(9/7)		25 水 赤口 茶の席 [夏②] 名古屋市自動車図書館	
26 木 先勝 申込開始(WEB) 茶の席 [秋]		26 木 先勝 申込開始(WEB) 茶の席 [秋]	
27 金 友引 水墨画 遊翠の心 申込開始(電話) 茶の席 [秋]		27 金 水墨画 遊翠の心 申込開始(電話) 茶の席 [秋]	
28 土 先負 天地始終 安産合同祈祷会 御詠歌入門講座 休 普門園		28 土 先負 縁日 不動明王 天地始終 御詠歌入門講座 休 普門園	
29 日 仏滅		29 月 大安 阿息鏡 休 普門園	
30 月 戌の日 休 普門園		30 月 大安 阿息鏡 休 普門園	
31 火 赤口		31 火 仏滅	